

第1回「懐しき未来」プロジェクト発足記念講演会

生命維新

懐しき未来

へ向かって

栄養学・電子工学博士

まほろば主人

増川いづみ × 宮下周平

コラボ講演会



2022.

219

10:00~17:00

土

札幌市生涯学習総合センター

ところ：ちえりあ（6階 講堂）

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

参加費：3,000円

※会費はすべて「懐しき未来」プロジェクト基金とさせていただきます。

定員：200名

※録音・録画は固くお断りいたします。

※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

オプション：裏参道レスペランスの菜食弁当（別途 1200円）

⇒（限定 100食）要予約 ※講座お申し込み時に、合わせてご予約下さい。



主催：株式会社まほろば 札幌市西区西野5条3丁目1-1

お申込み

自然食の店まほろば 本店

TEL: 011-665-6624

メール: info@mahoroba-jp.net

「天下刷新」の雷鳴、轟く！

この世に、似た者同士が必ず居るとの言い伝えがある。

これは、甚だ不遜ではあるが、天下の才媛・増川いづみ女史に、それを感じていた。私は無学不知、彼女は有学悉知の天地懸隔の差は歴然としているが、志向の方位が不思議と同じであった。科学と芸術、太古から未来、ミクロからマクロコスモス、古史古文、地質鉱物、薬草発酵、量子電子、栄養食養、振動波長……。とても数え切れないマルチの才能と精緻を極めた知識量は無尽蔵ともいえる生ける図書館であり、さらに日々増殖し、進化されている。

エリクサーを作った 1998 年直後からのお付き合い。世界的な水の権威者である女史から波動測定の見解で意気投合し、様々なインスパイアされたものが少なくない。殊に、音に対する感受性の高さに、サウンドヒーリングという新分野を開かれたのは、瞠目であった。私も、音に対しての思い入れが人一

生命維新

懐しき未来 に向かって

倍あり、ここでも共鳴共感したのは時を待たなかった。

そして、栄養学博士としても食や農業への関心は極めて強く、この度の仁木町での「懐しき未来」プロジェクトには、甚だ強い関心を示して下さいました。元より、皇室直系の料理道「四篠司家」農事法人の代表者でもある。山梨と北海道が繋がり、古を継ぎ、未来を開くイヤシロ場の渦が、ここから起ころうとしている。

正に、それが今日である。

コロナ禍という暗雲を切り裂く、「天下刷新」、清涼の雷鳴が轟くであります。

まほろば 宮下周平

プログラム Program

- 10:00 ~ 12:00 「戦後幻想」・・・宮下周平
- 12:00 ~ 13:00 休憩
- 13:00 ~ 15:00 「生命維新」・・・増川いづみ
- 15:15 ~ 17:00 トークセッション「懐かしき未来へ」

講座予定内容：① 自虐史観からの脱却 ② コロナ騒動の正体…DS の闇 ③ 農業立国の始動…伝統的麻栽培の意義 ④ 5G の危険性…電磁波問題と解決法 ⑤ 小さな渦から大きな渦へ共振共鳴運動…八方へ広がりゆく最も敏感な水の素速い伝達力のごとく集団催眠からの目覚め、意識を整え、考える力を取り戻し、政治を国民の手に取り戻す。…乞うご期待ください。

※講演内容は、都合により変更となる場合がございます。

アクセス Access

地下鉄をご利用の場合
地下鉄 東西線：宮の沢駅下車
地下直結通路：徒歩約 5 分
(大通駅～宮の沢駅：約 15 分)

車をご利用の場合
札幌中心部より約 25 ~ 30 分

駐車場
西友宮の沢店駐車場と共用
(640 台収容可能)

駐車料金
1 時間無料。以降、30 分毎に 100 円
(注) ちえりあをご利用される方は、ちえりあ内駐車券認証機を通すと、さらに 1 時間無料。



プロフィール Profile



増川 いづみ Izumi Masukawa

コスミックチューンサウンドヒーリングスクール創始者。ミシガン州立大学で栄養学と電子工学の博士号、MIT で量子力学修士号取得。水の磁気共鳴研究、流体力学、超低周波を中心とした電磁気学、生物分子学、マリンバイオ

ロジ、地質学、醗酵学、鉱物学、薬草学、シャーマニズム、古文書など分野を超え多岐にわたる研究に従事。電磁波への脅威をいち早く警鐘し防御のための製品「テクノAO」の研究開発に携わる。近年は音による振動治療を応用したサウンド療法に集中し「人と地球と健康と生命のバランス」をテーマに活動。

宮下周平 Shuhei Miyashita

1950 年北海道恵庭市生まれ。1983 年、札幌に自然食品の店「まほろば」を創業。独自の筋力テスト 0 - 1 テストを使って浄水器



「エリクサー」を開発し、多方面にわたるこだわりの商品開発を続ける。現在、余市郡仁木町に居を移し、(株)まほろば自然農園代表 宮下洋子と共に、営農に励む毎日。著書に『倭詩』『続・倭詩』(IDP 出版)『続々倭詩 - 醸しの書』があり、『コロナと生きる』は 8 万部を超え、警世の書となる。